

平成18年度採択評価結果（平成18年9月）

[研究開発課題名] LED照明による可視光通信を利用した情報案内サービスに関する研究開発

[委託機関名] 株式会社中川研究所

点数	合計点数	総合所見
技術評価	34	<p>（技術：研究を成功させるためのポイント、その他特記事項等についての総合的な所見）</p> <p>可視光であるということで安全であること、人間にもやさしいことから、これから発展する技術であると思われる。可視光を利用して放送モードで多量な案内情報を伝送する技術は提案者の独自技術であり、基盤技術性は高く産業界への影響力も大きい点を評価できる。今後開発計画の中で通信のUp Linkに対する開発構想も必要であると思われる。ビジネスの可能性も十分期待できる。</p>
事業化評価	34	<p>（事業化：事業化のシナリオ、波及効果の見込、収益の可能性等に関する総合的な所見）</p> <p>事業シナリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な事業化戦略を検討しており、評価できる。またLED照明市場も今後拡大が予想される。 ・LED照明の普及及び電力線通信の普及に伴い、LED通信を用いたアプリケーションの需要も拡大していくと考えられる。 ・事業化の体制として、製造・営業・販売に関して確固たる体制を研究開発期間中に検討する必要がある。 <p>波及効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED通信は画期的な技術であり、実現すれば限定された施設等における波及性は高いといえる。核となるキラーアプリケーションについてさらなる検討が期待される。 <p>収益の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設、介護施設における可視光通信のニーズは高い。また、美術館・博物館、スーパーマーケット等においても従来のRFID等との協調補間による市場拡大が予想される。

（注）総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。